

北日本石油株式会社 太陽光発電事業

■事業概要

本事業は、静岡県裾野市の草地に敷地面積約 25,300 m²、総設備容量約 1,800kw の須山第三発電所を建設し、太陽光エネルギーを利用して発電した電気を供給するものである。

項目	内容
利子補給対象	太陽光発電設備への融資
所在地	静岡県裾野市
用途地域	—
総設備容量	約 1,800kw
工事予定期間	平成 27 年 8 月～平成 28 年 3 月
供用開始予定	平成 28 年 4 月

■立地環境

事業予定地は、静岡県裾野市須山の草地であり、北側、西側及び南側は工業団地に隣接、北北東には裾野市の一般廃棄物最終処分場が存在し、その他は植林や雑草地である。事業予定地の 600m 内に病院、学校や社会福祉施設など環境保全に留意を要する施設はなく、最も近い住宅からも 500m 離れている。

■実施した環境影響調査

裾野市及び静岡県の公表資料、環境省の第 6 回自然環境保全基礎調査などの既存文献資料調査並びに専門技術者による現地調査を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

事業内容、工事工程及び事業実施に際しての環境配慮の取組の概要をまとめて事業者のホームページで公表し、意見を受け付けた。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 建設工事中の配慮：中学校の通学時間帯には、工事用車両を極力走行しないような計画とする。
- 供用中の配慮：事業予定地が湧水の多く分布する富士山麓という特性を考慮し、敷地内での雨水を極力地下浸透させる計画とする。



環境配慮に関するコメント

既設の第一発電所及び第二発電所で実績のある反射防止膜を使用した太陽光パネルを採用し、地域景観や光害の影響に努めていること、事業予定地が湧水の多く分布する富士山麓という特性を考慮し、敷地内での雨水を極力地下浸透させる計画としている点は評価できる。

一方、パネル洗浄水については有機溶剤を使用しないとのことだが、地下浸透に際しできる限り環境への影響の小さいものを使用するようお願いしたい。また、太陽光発電設備が使用済みとなって排出される段階においては、その時点での最新の知見を踏まえて、リユース・リサイクル・適正処分に努めるようお願いしたい。